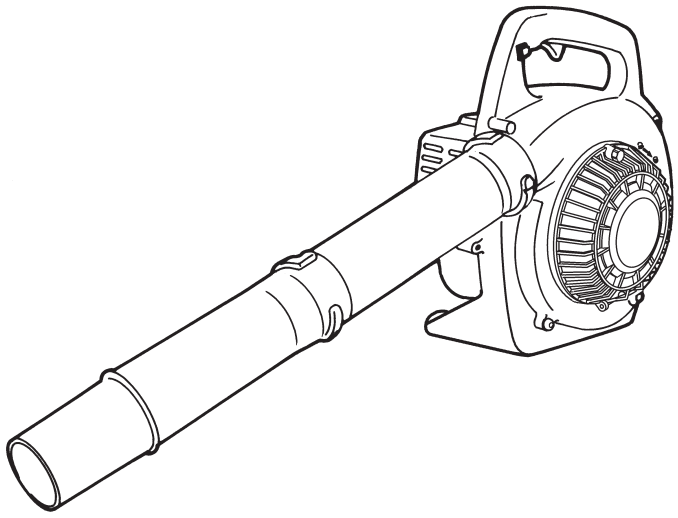
115366879 (E2/A1105)

ZENOAH®

ゼノアブロワ 取扱説明書

HB2320



⚠ 注意	● 製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 ● 取扱説明書は大切に保管してください。

はじめに

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保存し、分らないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠ 危険	：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	：注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
重　要	：注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
補　足	：その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

⚠ 正しくお使いいただくために　……4

警告ラベルとその取扱い ……7

サービスと保証について　……8

各部の名称 ……9

組立

ブロワパイプの接続……9

集じんキットの組付け(オプション)……10

燃料　……11

エンジンのかけかた　……12

エンジンのとめかた　……13

使用方法　……14

点検整備

エアクリーナ……15

燃料フィルタ・タンクキャップ ……15

スパークプラグ……16

吸気孔 ……16

エンジンの調整……17

マフラ ……17

長期保管時の手入れ……18

製品主要諸元　……19

付属品 ……19

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■製品をお使いになる前に

●このブロワは屋外の落ち葉や散乱したゴミ屑等の吹き寄せ清掃を主用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので本来の用途以外の目的には使用しないでください。

●本製品は高速で吹き出す風力を利用するため、操作を誤ると危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

●エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では、本製品を使用しないでください。

●次のような場合はお使いにならないでください。

①転倒の恐れがあるなど、製品の正常な保持・操作が困難な場合
②霧や夜間など、視界が悪く作業現場周辺の安全確認が困難な場合
③天候悪化時（降雨、強風、雷など）
④作業中吹き飛ばされたゴミで周囲の人や物に危害を及ぼす恐れがある場合。

●初めてお使いになる場合は、実作業に入るまえに熟練者から製品の取扱い指導を受けるか、周囲に危険物のない広場等で練習し、操作に慣れてから本格作業に入るようにしてください。

●疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

●この取扱説明書はわかりやすいところに保管して、必要の都度参照してください。

●本製品を譲渡または貸与する場合は、この取扱説明書を必ず添付してください。

正しくお使いいただくために

■作業時の服装・装備

●ブロワをお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、作業帽、手袋、作業靴を着用してください。また、作業時の粉塵や運転音から身体を守るため、防塵メガネ（ゴーグル）、耳栓（イヤマフ）、防塵マスクをお使いになるようお勧めします。危険ですので裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履ばきでの作業はしないでください。

■運搬時の注意事項

●運搬中の衝撃で燃料が漏れ出す恐れがありますので、タンクに燃料を入れたままで長時間悪路を運搬しないでください。

●車両で運搬する時は、機体をロープなどで荷台に確実に固定してください。危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。

■燃料に関する注意事項

●本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

●くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

●使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

●給油時にこぼれた燃料は、エンジンをかける前に布などで完全にふき取ってください。

●給油後は、燃料容器を密閉し、燃料タンクのキャップを確実に締めてから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

⚠ 正しくお使いいただくために

■使用時の注意事項

●エンジンをかける前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみやカバー類の破損、燃料漏れ、操作部の作動不良等の異常が発見された場合は使用を中止して完全に整備してください。

●作業前に現場内および周辺の状況をよく確かめ、作業区域内に人や車が進入する恐れがある場合は、適切な方法で立ち入り禁止措置を講じてください。また、区域内の傷つきやすい物は移動するか覆いをしてください。

●作業中は周囲の人と10m以上の距離を保ち、子供や動物は作業現場から遠ざけて下さい。

●不測の事故や火災の危険がありますので、エンジンをかけたままブロワの吹き出し口を周囲の人やタキ火、焼却炉、ストーブ、カマド等に絶対に向けないでください。

●作業の途中で休憩や燃料補給、機体の点検などをする場合は必ずエンジンを停止してください。

●電気ショックを受けることがありますので、エンジン運転中はスパークプラグやプラグコードに触れないでください。

●高温によるヤケドの恐れがありますので、エンジン運転中及び停止直後はマフラやスパークプラグなどの金属部に素手で触れないでください。

■整備上の注意事項

●製品の機能を維持するため、定期的に本書記載の点検整備を実施してください。本書に記載されていない整備や部品交換が必要な場合はお買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。

●点検整備時は必ずエンジンを停止してください。

●送風機の吸気孔ガードを取り外して運転しないでください。高速回転する送風ファンに触れる恐れがあり非常に危険です。

●送風機やエンジンの分解・改造等はしないでください。運転中に機体が破損し、重大な事故を招く危険があります

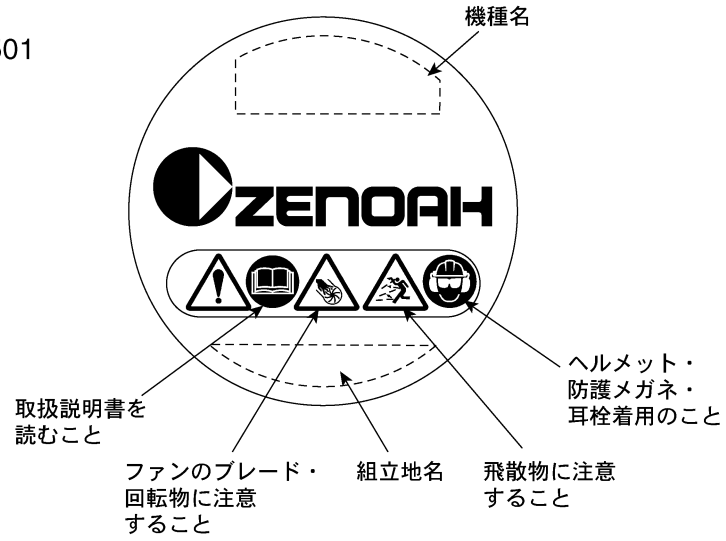
●エンジン停止直後は、マフラやスパークプラグに素手で触れないでください。高温のため火傷の危険があります。

●交換用部品はゼノア純正品またはゼノア指定銘柄品を使用してください。

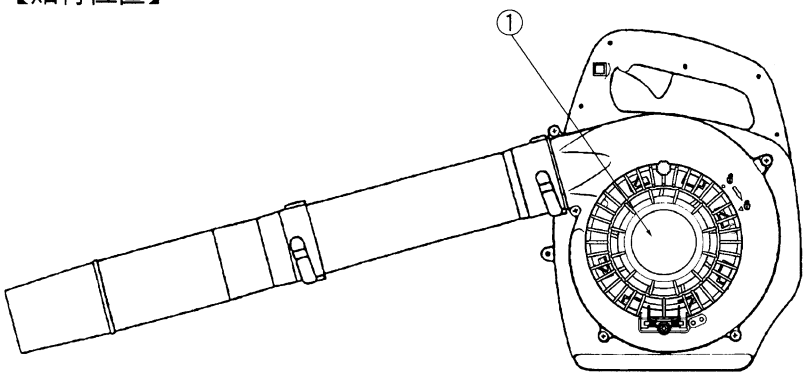
⚠ 正しくお使いいただくために

■警告ラベルとその取扱い

①品番 576216501



【貼付位置】



【ラベルのメンテナンス】

（1）警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

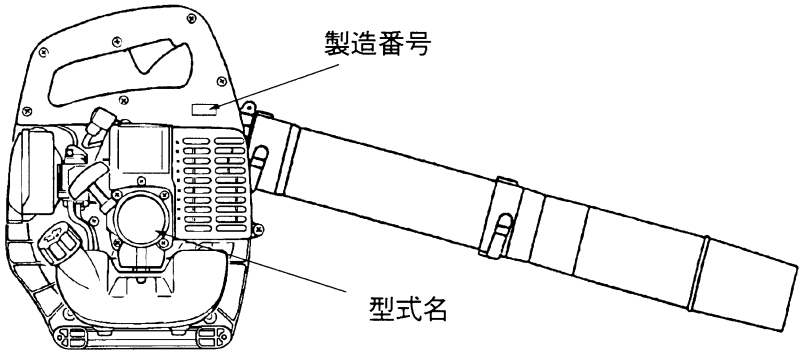
（2）警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、
新しいラベルに取り替えてください。

（3）新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして
元の位置に貼ってください。

サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。
お問い合わせの際は型式名と製造番号(下図参照)をご連絡ください。
製品･技術･その他に関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口(裏表紙記載)にお寄せください。



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

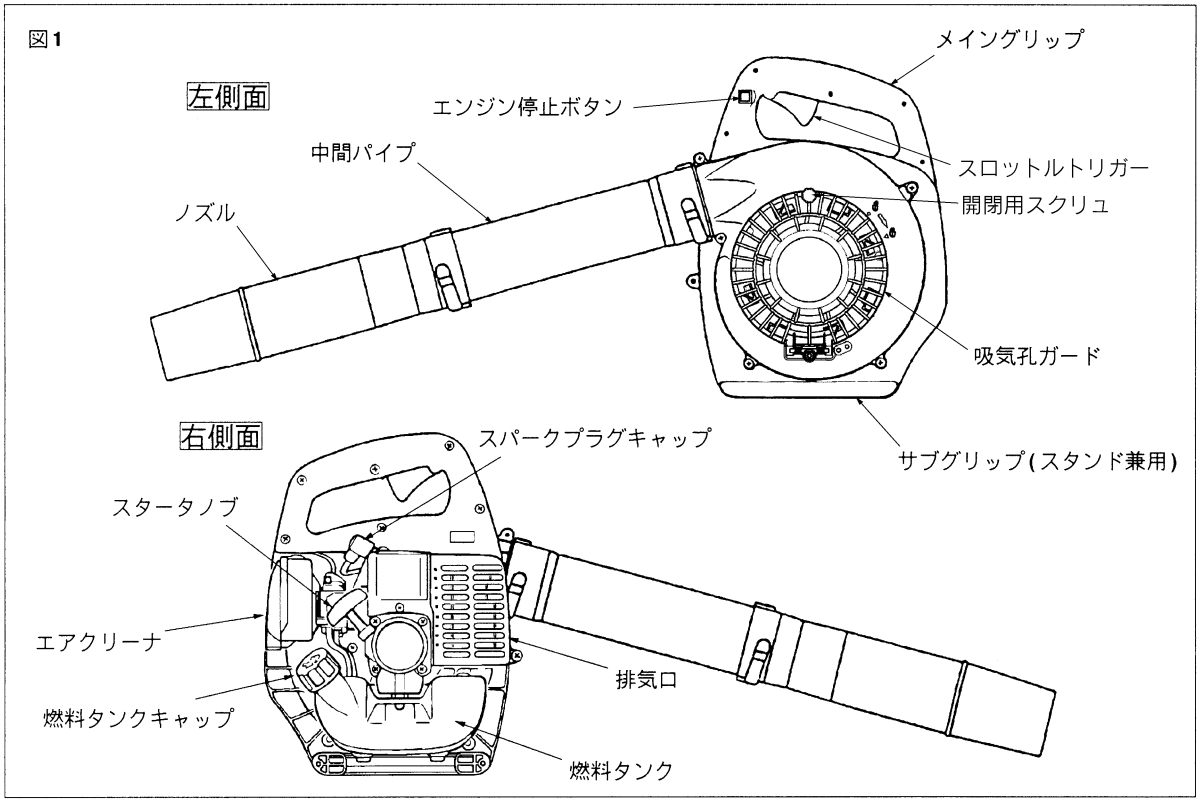
補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後８年です。
ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

⚠ 警 告	機械の改造は危険ですので、改造しないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

各 部 の 名 称

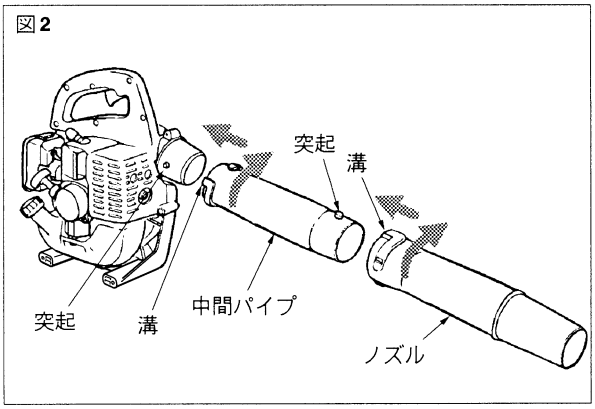
図1



組　立

■ブロワパイプの接続

図2



1. 中間パイプ端部の溝を本体側取り付け部の突起に合わせてまっすぐ押し込んでください。

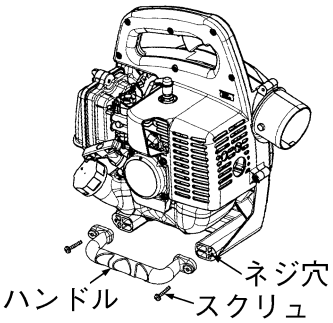
2. パイプを、本体側から見て左に90度回してください。

3. ノズル端部の溝を中間パイプの突起に合わせてまっすぐ押し込み、本体側から見て左に90度回してください。

補足　パイプが入りにくい場合は、本体を立てて両足で挟みつけながらパイプを両手で握り、押し回すようにすると確実に接続できます。

■アシストハンドルの組付け

図 3



1. ボリュート下部の２ケ所のネジ穴にハンドルの穴を合わせてスクリュを締めてください。

重要 スクリュは真っ直ぐにしっかりと締めてください。

■集じんキットの取り扱い (オプション)

集じんキットに付属の取り扱い説明書をご覧ください。

燃　　料

⚠ 危険	●燃料は非常に引火しやすいため取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。 燃料の混合や給油時は必ず火気を遠ざけタバコは吸わないでください。 ●給油時にこぼれた燃料はエンジンをかける前によくふき取ってください。 ●作業中に燃料を補給する場合は給油前に必ずエンジンを停止してください。 ●燃料の入った容器はたき火やバーナーなどの近くに放置しないでください。

重 要	●４サイクルエンジン用オイルや水冷２サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。 ●燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。余った燃料は密閉容器に入れ冷暗所に保管してください。

〔混合比〕

□ゼノア純正２サイクルオイル(FD級)使用時

……50：1

(ガソリン1Lに対しオイル20mL)

□ゼノア純正２サイクルオイル(FC級)使用時

……40：1

(ガソリン1Lに対しオイル25mL)

燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷2サイクルエンジン用オイルを左記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

— ゼノア純正　**ビッグバンガソリン** —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された２サイクルエンジン専用の混合燃料です。

◎変質しにくい特殊ガソリンの採用で
　キャブ詰まり追放
◎混合の手間不要
◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、
　排気をきれいにする各種添加剤配合
◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

エンジンのかけかた

⚠ 注 意	始動と同時に強い風が吹き出しますので、エンジン始動時はノズルの前方に人がいないことを確かめてください。

図4

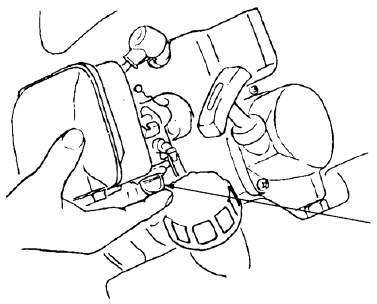


図5

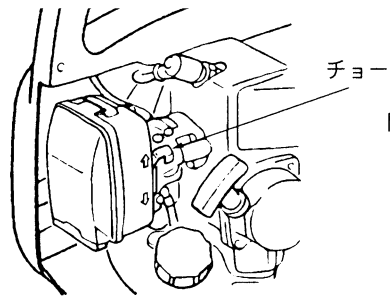
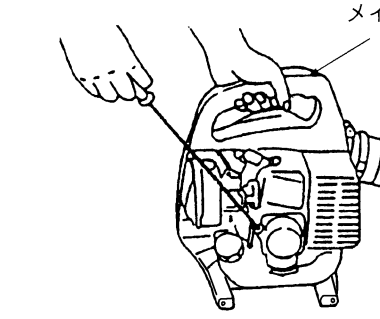


図6



1. 燃料タンクに燃料を入れキャップをしっかり締めてください。

2. キャブレタ下部の始動ポンプを使ってキャブレタに燃料を満たします。燃料が透明なパイプを通ってタンクに戻り始めるまで、ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

補足 タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。

3. エアクリーナ右側のレバーを上げてチョークを閉じてください。

補足 エンジン停止直後に再始動する場合は、チョークを閉じる必要はありません。

4. 機体を安定した地面に置き、周囲に障害物のないことを確かめてから、左手でメイングリップを押え、右手でスタータノブを素早く引いてください。

重 要 スタータ故障の原因となりますので、ロープを一気に全部引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。

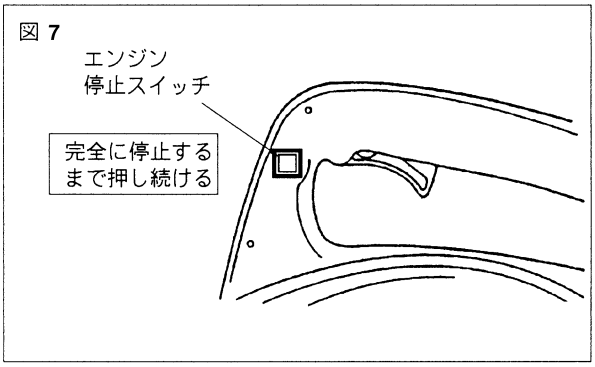
5. エンジンが始動したらチョークを徐々に開いてください。

6. 2～3分低速で暖機運転してから作業を始めてください。

エンジンのとめかた

⚠ 注 意	緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。

図 7



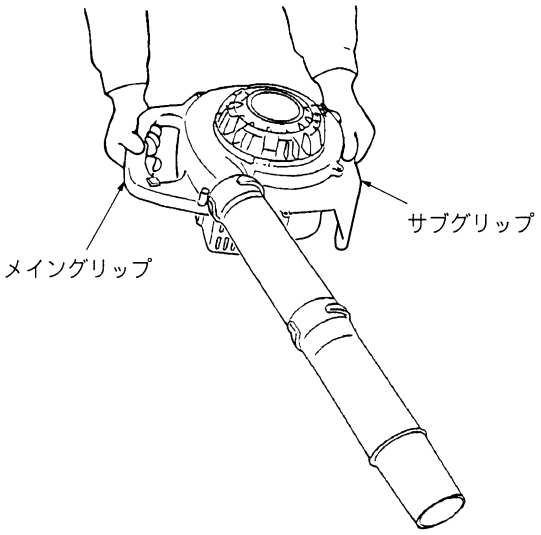
1. スロットルトリガーを戻し、低速でしばらく運転してください。

2. エンジン停止スイッチを、エンジンが完全に停止するまで押し続けてください。

使　用　方　法

⚠ 注意	●道路や広場、駐車場など、人や車の往来がある場所で作業する時は、作業区域の周囲を保安バリケードで囲むなどの事故防止措置を講じてください。 ●ハシゴや屋根など、安定した姿勢の確保が困難な場所では使用しないでください。 ●吹き飛ばされたゴミで傷ついたり、風で倒れて破損したりする恐れのある物はあらかじめ移動するか、適切な覆いをしてください。

図 8



●風力は、作業条件に合せてスロットルトリガーで適切な強さに調節しながら作業してください。

●ゴミを一箇所に集める場合は、地形や風向きを考え、上方から下方へ、風上から風下へ、を基本に作業経路を設定してください。

●長時間作業時は、右手でメイングリップを持ち、左手でサブグリップを持って操作すると作業が楽になります。

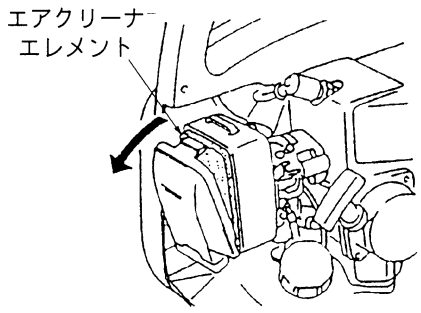
点検整備

⚠注意	●点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ●送風機やエンジンの分解、改造等はしないでください。 ●交換部品、油脂類は当社純正品または指定品を使用してください。

■エアクリーナ

重要	●エアクリーナエレメントが詰まるとエンジン性能が低下します。また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。 ●エアクリーナカバーを取り付けた後、手で軽く動かして外れないことを確かめてください。取付けが不完全だと、使用中にカバーが外れてエレメントが脱落することがあります。

図 9



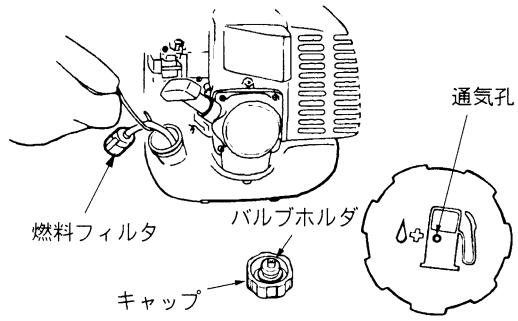
1日の作業が終わったらエアクリーナカバーを取り外してエレメントの汚れ具合を点検してください。

汚れがひどい場合は中性洗剤入りの温湯でていねいに洗ってよく乾燥させてから元通り取り付けてください。

エレメントが変形・破損した場合は新品（品番：1918-82120）と交換してください。

■燃料フィルタ・タンクキャップ

図 10



燃料フィルタやタンクキャップの通気孔が詰まるとエンジン回転が上がらなかったり回転変動を起こしたりします。定期的に点検してください。

□燃料フィルタ

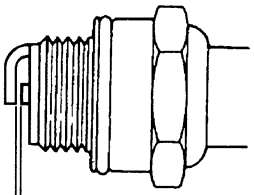
フィルタを給油口から取り出して点検し、目詰まりしている場合は、燃料パイプから取り外してガソリンで洗浄するか、新品（品番：5500-85400）と交換してください。

□タンクキャップ

キャップ内側のバルブホルダを取り外し、キャップ中央の通気孔が詰まっている場合は、細い針金等で掃除してください。

■スパークプラグ

図11



スパークプラグ指定品

銘　柄	型番（純正部品品番）
チャンピオン	RCJ-6Y（電波障害防止型） （3699-90419-10）
NGK	BPMR7A（電波障害防止型）

⚠ 注意	運転直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。高温のため火傷の危険があります。

使用25時間毎にスパークプラグを取り外して電極の汚れをワイヤブラシなどで取り除いてください。

電極間隙（図10）は0.6～0.7mmが適当です。

プラグ交換時は指定品をお使いください。

重要 燃料を吸い込みすぎたりオイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。

■吸気孔

⚠ 警告	●吸気孔ガードを外して使用しないでください。送風ファンに触れて負傷する恐れがあります。 ●エンジンをかけたまま吸気孔に棒を差し込んだりしないでください。 ●吸気孔の点検整備や吸気孔ガードの開閉は、必ずエンジンを停止してから行なってください。

図12

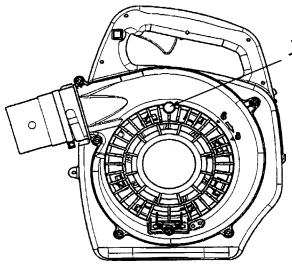
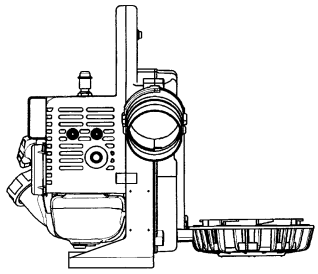


図13



使用中に風力が弱まった場合はエンジンを停止し、吸気孔が異物でふさがれていないか点検してください。内部に詰まった異物は吸気孔ガードを開いてから取り除いてください。

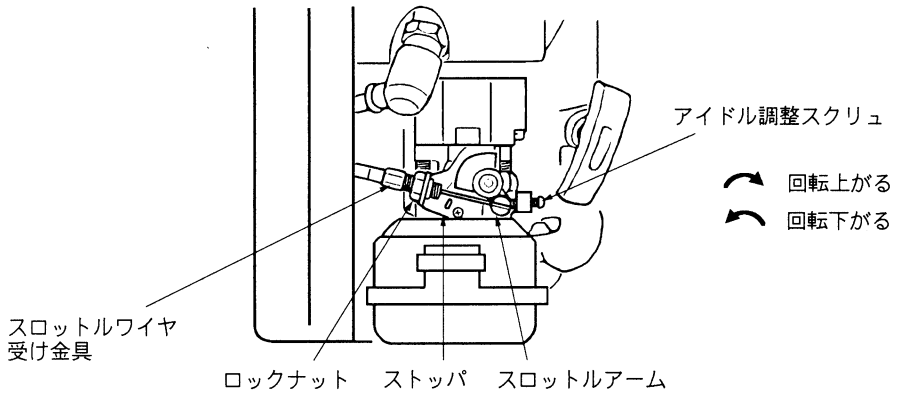
■吸気孔ガードの開閉方法

1. スクリュをゆるめて開いてください。
2. 閉じた後スクリュを確実に締めてください。

■エンジンの調整

エンジンは工場出荷時に調整されていますが、再調整が必要と思われる場合は、以下の手順で調整してください。調整しても改善しない場合は他の原因が考えられますのでお買い上げ店にご相談ください。

図14



□アイドル調整スクリュ

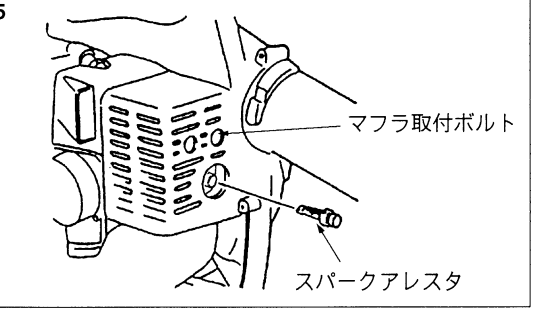
スロットルトリガーを戻した時のエンジン回転数を調整するスクリュです。右（時計回り）に回すと回転が上がり、左（反時計回り）に回すと回転が下がります。

□スロットルワイヤの引き代

スロットルトリガーを一杯に引いた時にスロットルアームとストッパに隙間がある場合（スロットル開度不足）は、ロックナットをゆるめてからスロットルワイヤ受け金具を反時計回りに回してアームがストッパに当るようにしてください。

■マフラ

図15



1. マフラ取付ボルトのゆるみを点検し、六角レンチ（対辺4mm）で増締めしてください。

2. 排気口に取り付けられているスパークアレスタ（火の粉飛散防止装置）の状態を点検し、目詰まりしていたり網が破れているようだったら、ドライバの先で縁をこじって取り外し、清掃または新品（品番：1601-15120）と交換してください。

■長期保管時の手入れ

⚠ 注 意	燃料抜き取り時は、燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。また、保管容器のキャップはしっかり締めてください。

重 要	燃料を入れたまま長期間放置するとキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障（始動不良や出力不足）の原因となります。

1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。

2. 燃料タンクを空にしてからエンジンをかけ、残った燃料を使い切って止まるまで低速で運転してください。

3. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。スタータロープを2～3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。

4. スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を差してから、機体に覆いをして屋内の湿気のない場所に保管してください。

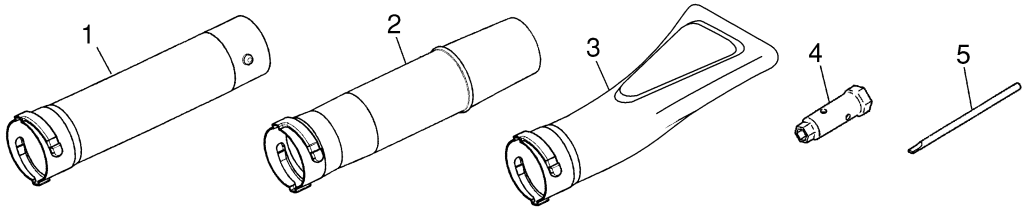
製品主要諸元

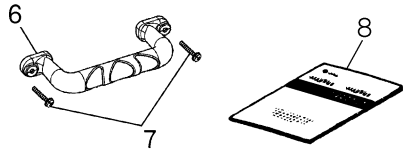
名称・型式			ゼノアエンジンブロア HB2320
本体乾燥質量（※1）		kg	3.7
外形寸法（※2）	全長	mm	325
	全幅	mm	230
	全高	mm	360
燃料タンク容量		L	0.75
送風機(※3)	使用回転数	rpm	2300～7500
	最大風量	m^3/分	10
	最大風速	m/秒	55
エンジン	形式		単気筒空冷２サイクルガソリンエンジン
	排気量	cm^3	22.5
	使用燃料（混合比）		潤滑油混合ガソリン 〔混合比：ゼノア純正オイル(FD級)使用時　50：1 ゼノア純正オイル(FC級)使用時　40：1〕
	使用潤滑油		２サイクルエンジン専用オイル
	キャブレタ		ダイヤフラム、ロータリーバルブ式
	点火方式		IC制御フライホイルマグネト式
	スパークプラグ		チャンピオンRCJ-6Y（電波障害防止型）
	始動方式		リコイルスタータ式
	停止方式		点火回路一次側短絡式（押しボタン）

（※1）ブロワパイプ、燃料を除く　（※2）ブロワパイプを取り外した状態の寸法　（※3）ラウンドノズル装着時

改良などにより、商品の細部仕様が本書記載内容と異なる場合があります。予めご了承下さい。

付属品





図番号	部品番号	品　名	1台分数量
1	681151211	パイプ	2個
2	848L0L65E0	ラウンドノズル	1個
3	681151230	フラットノズル	1個
4	111091320	ソケット	1個
5	358291330	バー	1個
6	848L0A65G0	サポートハンドル	1個
7	8488553000	スクリュ	2個
8	115366879	取扱説明書（※）	1冊

（※）保証書が挟み込まれています。

ZENOAH®

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社　国内営業本部

ナビダイヤル® **0570-084987**

月～金/9:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日は除く）

http://www.zenoah.co.jp/

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社：〒350-1165　埼玉県川越市南台 1-9

（平成２３年５月現在）

115366879 (E2/A1105) PRINTED IN JAPAN